

PX-S3000

Bluetoothスピーカー活用 × オーディオ&パソコン接続ガイド

目次

本機を Bluetooth スピーカーとして使う	1
オーディオ機器の音を本機のスピーカーで鳴らす	2
外部入力の音量調節とセンターキャンセル	2
本機の音をアンプやオーディオ機器に出力する	3
パソコンと接続する	3

重要

- 接続に際しては、接続機器の取扱説明書も併せてお読みください。

本機をBluetoothスピーカーとして使う

本機はBluetoothスピーカーとして利用できます。本機とBluetoothオーディオに対応した外部機器をペアリングすることで、外部機器の再生音を本機のスピーカーから鳴らすことができます。

❗ 重要

- ペアリング操作のときは、本機と外部機器の音量を小さめに絞っておいてください。
- 本機で鳴らした外部機器の音が歪んだ音で聴こえる場合は、外部機器の音量を下げてください。

■本機とBluetoothオーディオ機器をペアリングするには

1. **[15] V**を押さえ続け、液晶画面に“[FUNCTION]”と表示されたら離します。
FUNCTIONモードに入ります。
2. **[10] <**、**[11] >**を使って“AUDIO IN”を表示し、**[12] ENTER**にタッチします。
3. **[10] <**、**[11] >**を使って“BLUETOOTH”を表示し、**[12] ENTER**にタッチします。
4. **[10] <**、**[11] >**を使って“Pairing”を表示し、**[12] ENTER**にタッチします。
本機のBluetoothアイコン(✱)が点滅し、ペアリングの待機状態になります。
 - 本機のBluetooth機能の設定がオフの場合は、自動的にオンに切り替わります。
5. 外部機器のBluetooth設定画面を開き、Bluetoothがオフの場合はオンに切り替えます。
6. 外部機器のBluetooth設定画面で、本機のデバイス名(CASIO Privia)を選択します。
 - ペアリングが完了すると、本機のBluetoothアイコン(✱)が点滅から点灯になります。
 - 外部機器から出力された音が、本機のスピーカーから鳴ります。
7. FUNCTIONモードから抜けるには、液晶画面から“[FUNCTION]”の表示が消えるまで、**[15] EXIT**を押さえ続けます。

📌 メモ

- 上記の操作が必要なのは、外部機器1台につき1度だけです。その後は、本機と外部機器のBluetoothをそれぞれオンにするだけで、自動的にBluetooth接続されます。
- 本機は最大8台までのBluetoothオーディオ機器とのペアリング情報を記憶可能です(一度に接続できるのは、1台だけです)。

■本機のBluetooth機能のオン/オフを切り替えるには

1. 「**本機とBluetoothオーディオ機器をペアリングするには**」の手順1～3を実行します。
2. **[10] <**、**[11] >**を使って“Bluetooth Audio”を表示し、**[12] ENTER**にタッチします。
3. **[10] -**、**[11] +**を使って、“On”と“Off”の間で切り替えます。
 - “On”のときに本機とペアリング済みの外部機器と接続されると、Bluetoothアイコン(✱)が点灯します。“Off”のときは消灯します。
4. FUNCTIONモードから抜けるには、液晶画面から“[FUNCTION]”の表示が消えるまで、**[15] EXIT**を押さえ続けます。

■Bluetooth接続履歴を削除するには

📌 メモ

- 下記操作を実行すると、本機とペアリングしたすべてのBluetoothオーディオ機器との接続履歴(ペアリング情報)が削除されます。Bluetoothオーディオ機器との接続がうまくいかない場合は、下記操作の後で、「**本機とBluetoothオーディオ機器をペアリングするには**」を実行してください。
 - 下記操作の実行後は、本機とペアリングしたすべてのBluetoothオーディオ機器側でも、本機との接続履歴を削除してください。操作については、Bluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
1. 「**本機とBluetoothオーディオ機器をペアリングするには**」の手順1～3を実行します。
 2. **[10] <**、**[11] >**を使って“Pairing Reset”を表示し、**[12] ENTER**にタッチします。
液晶画面に“Sure?”と表示されます。
 - 次の操作で削除が実行されます。削除をやめるには、ここで**[10] -**にタッチします。
 3. 削除するには、**[11] +**にタッチします。
Bluetoothアイコン(✱)が消灯し、Bluetooth接続が解除されます。

オーディオ機器の音を本機のスピーカーで鳴らす

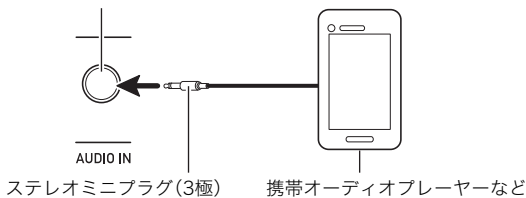
接続には市販の接続コードが使用できます。

- 本機に接続する側がステレオミニプラグ(3極)、もう一方は外部機器の出力端子に接続できるものをご用意ください。

❗ 重要

- 接続するときは本機の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。
- 接続した後は外部機器、本機の順番で電源を入れてください。
- 本機で鳴らした外部機器の音が歪んだ音で聴こえる場合は、外部機器の音量を下げてください。

29 AUDIO IN端子(ステレオミニジャック)



外部入力音量調節とセンターキャンセル

外部機器からの入力音声を本機のスピーカーで鳴らす際は、出力音に対して音量の調節とセンターキャンセルが可能です。Bluetooth、29 AUDIO IN端子のどちらで接続した外部機器からの入力音声に対しても、これらの設定は有効です。

■センターキャンセル(ボーカルカット)について

センターキャンセルをオンにすると、入力された音のボーカルがカット(消去、低減)されます。センター定位の音をキャンセルする機能なので、ボーカル以外の音もカットされる場合があります。効果の度合いは、入力する音によって異なります。

■外部入力音量を調節するには

1. **15** **V**を押さえ続け、液晶画面に“[FUNCTION]”と表示されたら離します。
FUNCTIONモードに入ります。
2. **10** **<**、**11** **>**を使って“AUDIO IN”を表示し、**12** **ENTER**にタッチします。
3. **10** **<**、**11** **>**を使って“Audio In Volume”を表示し、**12** **ENTER**にタッチします。
4. **10** **-**、**11** **+**または**22**ノブ(K1)を使って、設定値を変更します。
 - 音量は0~127の間で設定できます。
 - **10** **-**と**11** **+**に同時にタッチすると、初期値に戻ります。
5. FUNCTIONモードから抜けるには、液晶画面から“[FUNCTION]”の表示が消えるまで、**15** **EXIT**を押さえ続けます。

■センターキャンセルの設定を切り替えるには

1. 「外部入力音量を調節するには」の手順1、2を実行します。
2. **10** **<**、**11** **>**を使って“Center Cancel”を表示し、**12** **ENTER**にタッチします。
3. **10** **-**、**11** **+**を使って、“On”(センターキャンセル有効)と“Off”(センターキャンセル無効)の間で切り替えます。
4. FUNCTIONモードから抜けるには、液晶画面から“[FUNCTION]”の表示が消えるまで、**15** **EXIT**を押さえ続けます。

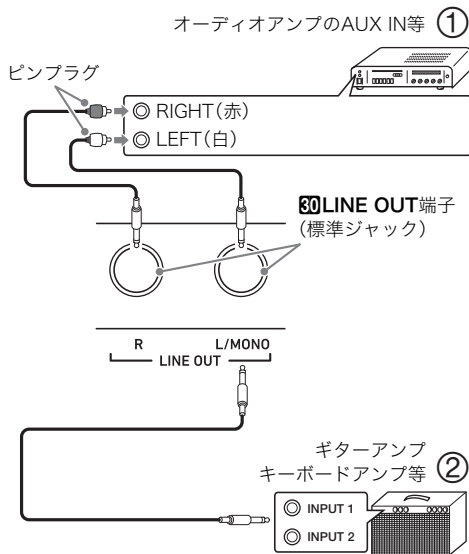
本機の音をアンプやオーディオ機器に出力する

オーディオ機器や楽器用アンプと接続すれば、それらの機器のスピーカーの能力に応じた、より迫力のある音量や音質で、演奏を楽しめます。

❗ 重要

- 接続するときはすべての外部機器の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。
- 接続した後は本機、外部機器の順番で電源を入れてください。
- 外部機器で鳴らした本機の音が歪んだ音で聴こえる場合は、本機の音量を下げてください。

接続には市販の接続コードが使用できます。



■オーディオ機器と接続する場合(図①)

LINE OUT R(Right)が右チャンネル、LINE OUT L/MONO(Left)が左チャンネルの音です。市販の接続コードで図①のように、両方とも接続してください。通常はオーディオ機器のインプットセレクターを、接続した端子(AUX IN等)に切り替えます。

■楽器用アンプと接続する場合(図②)

LINE OUT L/MONOだけに接続すれば、両方のチャンネルの混ざった音になります。市販の接続コードで図②のように接続してください。

パソコンと接続する

本機とパソコンを接続して演奏情報(MIDIデータ)の送受信ができます。楽器演奏をパソコンの音楽ソフトで録音したり、パソコンから本機へデータを送って音を鳴らすことができます。

■パソコンの動作環境

MIDIデータを送受信するために必要なパソコン環境は下記のとおりです。お手持ちのパソコン環境を必ず事前にご確認ください。

● 対応OS

Windows 7 ※1

Windows 8.1 ※2

Windows 10 ※3

macOS(OS X/Mac OS X) 10.7、10.8、10.9、10.10、10.11、10.12、10.13

※1 Windows 7(32bit版、64bit版)

※2 Windows 8.1(32bit版、64bit版)

※3 Windows 10(32bit版、64bit版)

● USB端子

❗ 重要

- 上記の対応OS以外のパソコンを接続すると、パソコンが故障する場合があります。絶対に接続しないでください。

メモ

- 対応OSについての最新のサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。

<https://support.casio.jp/emi/manual/PX-S3000/>



■接続方法

⚠ 重要

- 正しい手順で接続しないとデータの送受信ができなくなる場合があります。必ず次の手順に従って接続してください。

1. 本機の電源を切り、パソコンを起動させておきます。
 - パソコンの音楽ソフトは起動させないでください。
2. 市販のUSBケーブルで、パソコンと本機を接続します。
 - ケーブルは、USB2.0または1.1のA-Bコネクタタイプを使用してください。
3. 本機の電源を入れます。
 - 初めての接続では、データを送受信するために必要なドライバーが自動でパソコンにインストールされます。
4. パソコンの音楽ソフト(市販品)を起動させます。
5. パソコンの音楽ソフト(市販品)の設定で、MIDIデバイスとして「CASIO USB-MIDI」を選びます。
 - MIDIデバイスの選択方法については、お使いの音楽ソフトのマニュアルをご覧ください。

⚠ 重要

- パソコンの音楽ソフトを起動させる前に、必ず本機の電源を入れておいてください。
- 曲の再生中は、データを送受信することができません。

メモ

- 1回接続に成功した後は、USBケーブルをつないだままでパソコンや本機の電源を入れなおすことができます。
- 本機のMIDIデータ送受信の詳しい仕様や、接続についての最新のサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。
<https://support.casio.jp/emi/manual/PX-S3000/>



- MIDI関連の設定については、「取扱説明書」の「MIDI設定を変更する」をご参照ください。

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

PXS3000-JA-3A-1

MA1903-A

© 2019 CASIO COMPUTER CO., LTD.